

2024年11月20日

保育所・児童クラブの保育の充実を求める請願書

犬山市議会議長

柴田 浩行 様

請願団体 犬山市保育を守る

請願代表者

住所

氏名

以下~~2379~~名

2,456名

紹介議員

岡 覚

丸山幸治

ビアンキ恵子

岡村千里

小川隆広

請願主旨

私たちが長年求め続けてきた4・5歳児の配置基準がようやく改善されました。子どもの権利保障の観点からも大きな前進といえます。犬山市の一日も早い対応を求めます。

いま、子どもの権利保障と乳幼児期からの安心できる子育てのためには、日常的に子どもの育ちと子育て家庭を支える社会資源としての保育・学童保育への財源確保が最も必要と考えています。

保育士の確保・定着化については常勤職員確保の具体的取組や、短時間勤務の保育士の処遇の適正化が急務です。

また、保育所の園舎や遊具の老朽化もどんどん進み、子どもたちが毎日安心・安全に過ごす環境を早急に整備する必要があります。

児童クラブにおいては、現在、順次、児童センターから小学校に場所を移転していますが、夏休み等の長期休暇においては、子どもの人数に対して部屋が狭く、自由に身体を動かして遊べるスペースも足りません。小学校に移転した児童クラブでは、児童センターの行事やクラブなどの参加ができなくなりました。遊びを重視した子ども相互の育ち合いの場としての学童保育を望みます。

子どもたちが保育所や児童クラブで生き生きと楽しく充実した時間を過ごすために、保育内容、環境を改めて見直し、予算を増やしてください。

これまで、犬山市では、『犬山の子は犬山で守る』保育を大切にしてきました。どの様な状況下においても、仕事と子育ての両立支援策の拡充など必要な措置を講じてください。



取り扱い団体

犬山市保育を守る会
犬山市職員労働組合

inuyama.hoiku@gmail.com
62-4141



請願項目

1. 保育施設の職員が生き生きと働き続けられ、より良い保育ができるよう賃金と処遇を改善して下さい。
2. 保育施設の予算を増やし、保育を充実させてください。